ほりえ眞報　１２号

第１２号　０１月２８日　堀江　眞　発行
雲南市吉田町上山７９－１　TEL 0854・75・0236
メール　shin-h@i-yume.ne.jp
URL　http://www.nanushi.com/blog/
眞さんのつぶやき　で　検索を。

平成１８年　新春　豪雪　スタート！

昭和３８年の豪雪を凌ぐとも言われる豪雪に見舞われました。
吉田杉戸地内１２月撮影

輝かしい平成１８年　新春を迎えました。皆様、元気にお正月をお過ごしだったこと思います。本年も宜しくお願いいたします。

昨年末から豪雪に見舞われました。吉田町地内でも　杉戸・民谷など積雪地帯では２メートルに達したところもありました。屋根からの雪ずりで大けがをされたり、家屋や農業施設が壊れたりと大きな被害が発生しています。被害に遭われた皆様に心からお見舞いを申し上げます。

合併当初から心配されていた除雪については幹線道路を中心に雲南市で精力的に実施していただき、大きな混乱は無かったようです。吉田町・町部では数年ぶりに両方の屋根から雪下ろしを行い、３８豪雪を思い起こさせる積雪量でした。一歩、路地にはいるとブルドーザーも入らず、家族総出で雪かきが行われました。

除雪費用も一月十日現在、掛合町で二千百万円。吉田町で千七百万円など、市内全域で５千七百万円に達しています。今後、平年並みに推移したとすると一億二千万円かかるとも予想されています。

雪に覆われた吉田町本町通り
「よう～に、くたーべたわ～」
３８豪雪は２階から出入りしたとか・・・。１２月撮影
本当に御苦労さまでした。

農業施設ではビニールシートをかけていないハウスがつぶれるなど大きな被害になっています。

「どうすればいいのか・・」悲痛な声です。中山間地農業を守っていくため、国・県・市の適切な支援・対応が不可欠です。

春本番まで今しばらくありますが今後の雪が気がかりです。

吉田町が生んだ彫刻家　巨匠　内藤　伸

内藤伸、明治十五年十月一日、田部家の調理人をしていた渡部嘉市の次男として誕生しました。母サヨは伸を生むと産後の肥立ちが悪く、間もなく亡くなってしまいます。伸、八歳のとき、縁あって松江市茶町の商家、内藤金助の養子として迎えられます。幼少の頃から絵がすきだった伸はやがて彫刻を目指します。１９歳の時、竹内久一教授の推挙により東京美術学校に編入。高村光雲らに師事。岡倉天心に心酔していました。安来市出身の天才　米原雲海などと共に創作活動を展開しています。吉田公園に安置される内藤伸の代表作「子安観音像」は、彼がかわいがった次女の薫を９歳の時に突然失ったことがきっかけとなり制作されました。「内藤伸」についての詳しくは是非、鉄の歴史博物館でご覧下さい。子安観音祭は毎年５月３日です。

代表作の一つ「湯上がり」
吉田歴史博物館　蔵

議会に第３セクター等調査特別委員会を設置

十二月に第三セクター「クラシック島根掛合ゴルフ場」が民事再生法を申請したことを受けて、あらためて第三セクター全体のあり方を検証するため、議会に特別委員会が設置されました。

当面はゴルフ場について、市の関与と再生手続き申請までの検証、今後の公的支援のあり方。中・長期的には、その他セクター、三刀屋パークゴルフ場及び（財）三刀屋農業振興センターの取り扱い、今後一年かけて検討することになった、市民バスの運行業務の委託のあり方などを調査・研究します。

期間は急がれるゴルフ場問題を三月議会までに、また市民バスについては遅くとも九月議会に間に合うように最終報告をする予定です。それぞれの旧町村で設立された思いと、新しい時代に即したあり方を研究していきたいと思います。皆様のご意見をお寄せ下さい。

編集後記

「邪魔をしなければ足りになる」先月は除雪の最中、車で動くことが憚られるようでした。穏やかな天気が続いてくれることを祈ります。